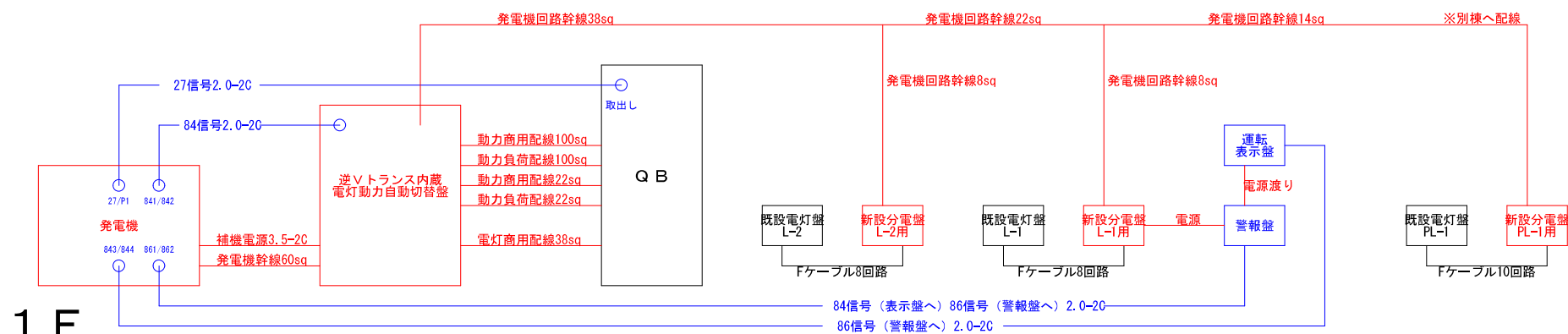
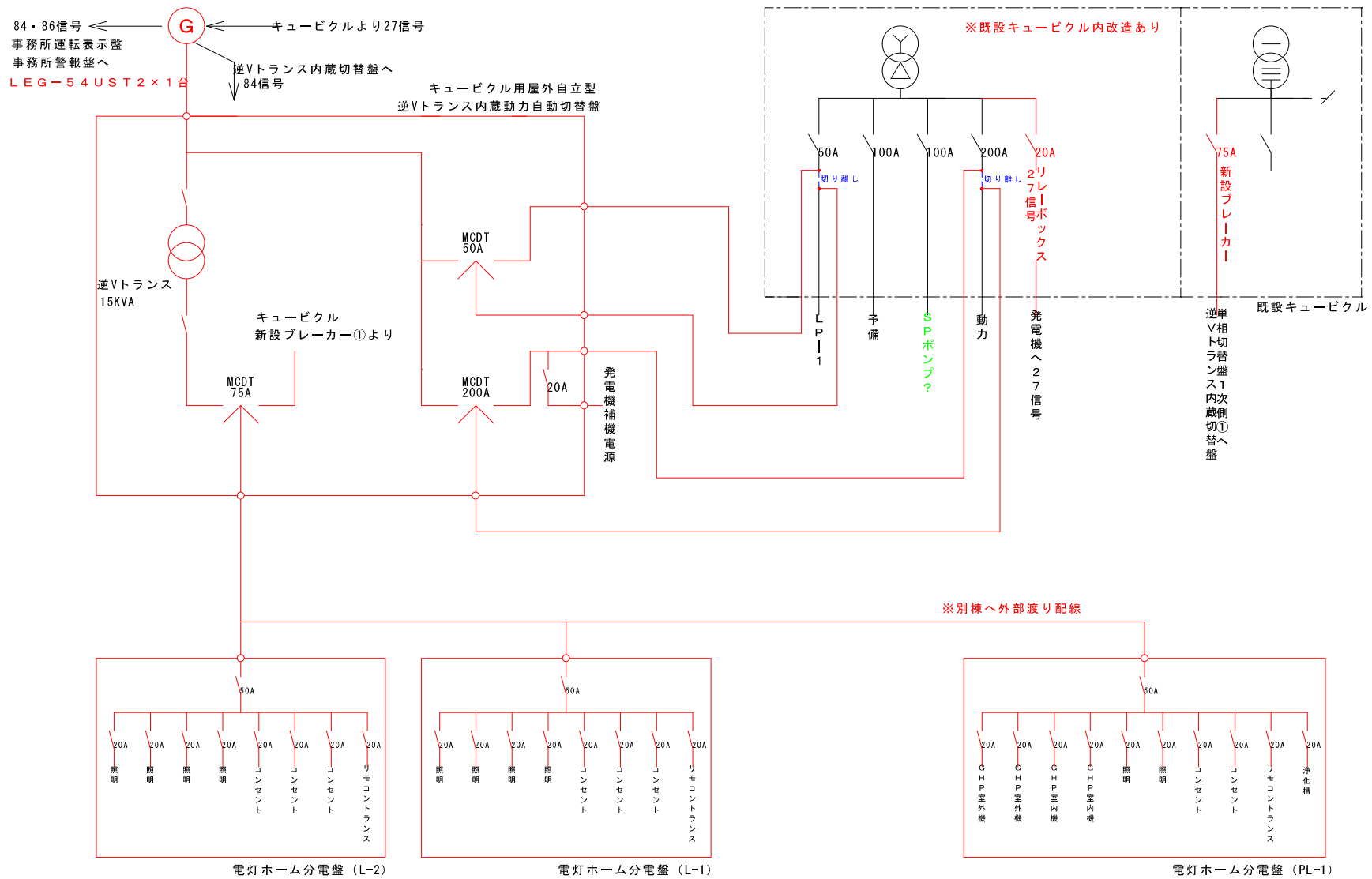


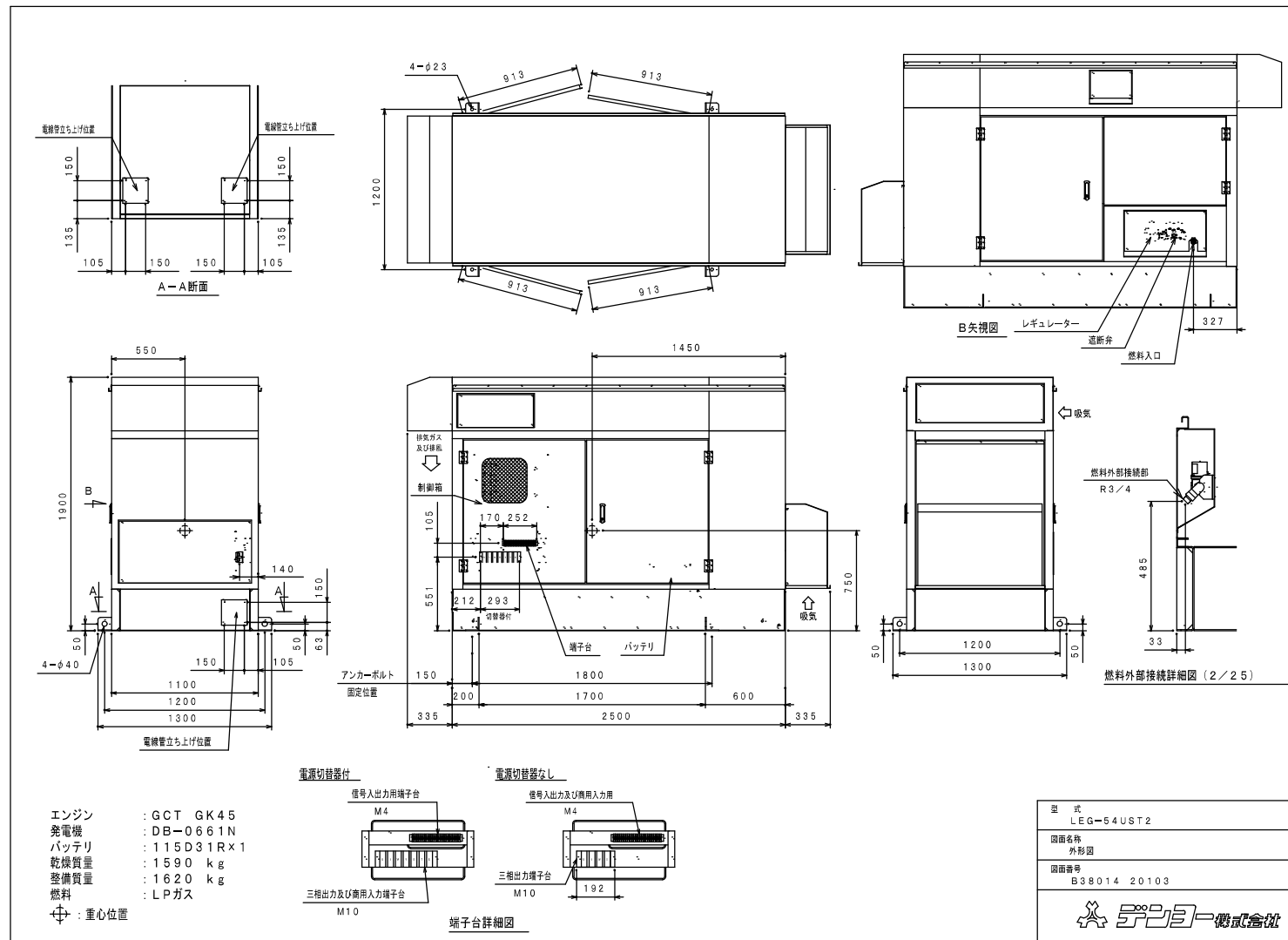
件 名	障害者支援施設さかど療護園 LPガス非常用自家発電設備工事		
目 次	1	表 紙	
	2	設計説明	
	3	平面図（設備配置図）	
	4	電気配線系統図	
	5	単線結線図	
	6	発電機外形図	
	7	発電機機外配線図	
	8	基礎図	
工事場所	障害者支援施設さかど療護園		
	埼玉県坂戸市中小坂80－2		
工 期	2025年 10月 1日 ～ 2025年 12月25日 予定		
器材仕様	1	発電設備	
	本工事で設置する発電設備は次の通りとする。		
	参考型式	デンヨー製 L E G－5 4 U S T 2（同等品以上）	
	下記条件を満たす発電機を選定する事	※機器問い合わせ先	
	① 屋外キュービクル構造	岩谷設備システム株式会社 弓場隆司	
	② 燃料がプロパンガスである事	090-3355-5465	
	③ エンジン・発電機共に国内製品である事		
	④ 超低騒音型である事（1m法において58dB以内）		
	⑤ サービス工場が埼玉県内にある事		
	⑥ 1週間に一度、自動でチェック運転を行う事。		
	2	盤 類（電源自動切替盤及び発電機警報盤）	
	① 電源自動切替盤	仕様については単線結線図参照	
	② 非常用電灯盤		
	③ 発電機警報盤、運転表示盤		
	3	ガス供給設備	
	① 供給設備	ガス設備は既存設備を利用。	
		既存ガスメーター2次側で配管分岐し、	
		発電機までのガス配管を新設配管する。	
	4	配管及び配線材料	
		電気工事材料としての内線規程によるもの	

工事概要	1	目的
		非常用発電設備を設置し、停電時に自動で非常電源に切替を行い施設内に非常電源を給電する。
		※負荷の同時使用については試運転時に発注者に説明し操作マニュアルを作成すること。
	2	施工概要
		電気工事
		① 非常用発電機を設置する。（配線の太さ・ルート等は十分考慮すること。）
		② トランス内蔵電源自動切替盤、非常用警報盤及び運転表示盤、非常用電灯盤を設置する。
		③ 防火区画貫通部には適切な処理を施す事とする。
		その他工事
		① 非常用発電設備の設置は、基礎上に設置する。※詳細別紙
		② 躯体貫通工事には、コア穿孔にて開口する。
		③ 点検口については現場確認し、必要に応じ適宜設置する。
		④ ガス配管工事については現場確認し、手配するものとする。
		⑤ 法令及び条例に従い、現地を確認の上、必要な措置を講じること。
特記事項	1	施工時間
		原則として、平日 朝 9時00分より 17時30分までとする。
		（時間が指定された場所等に関しては、落札業者は打合せ後、施設側へ配慮すること。）
	2	用地の使用
		工事材料置場、工事車両置場、施工箇所などは、最小限無償で利用できる。
		（工事車輛置場に関して、車輛数は事前に施設側へ報告すること。）
	3	水光熱費
		工事に使用する電力、水等は無償で供与する。
	4	施設利用者への配慮
		施設利用者について、騒音などにより支障が生じた場合には、
		協議の上適切に対応する事。
	5	工事竣工図書
		請負者は本工事の竣工後、竣工図面及び発電設備に関する試運転報告書各2部を
		発注者へ納入する事。





凡例 : デンヨー株式会社製 LEG-54UST2

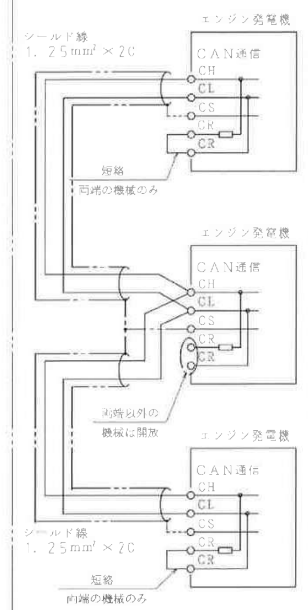


凡例 : デンヨー株式会社製 LEG-54UST2

図面番号: 05503

3台以上並列時について (CAN通信線)

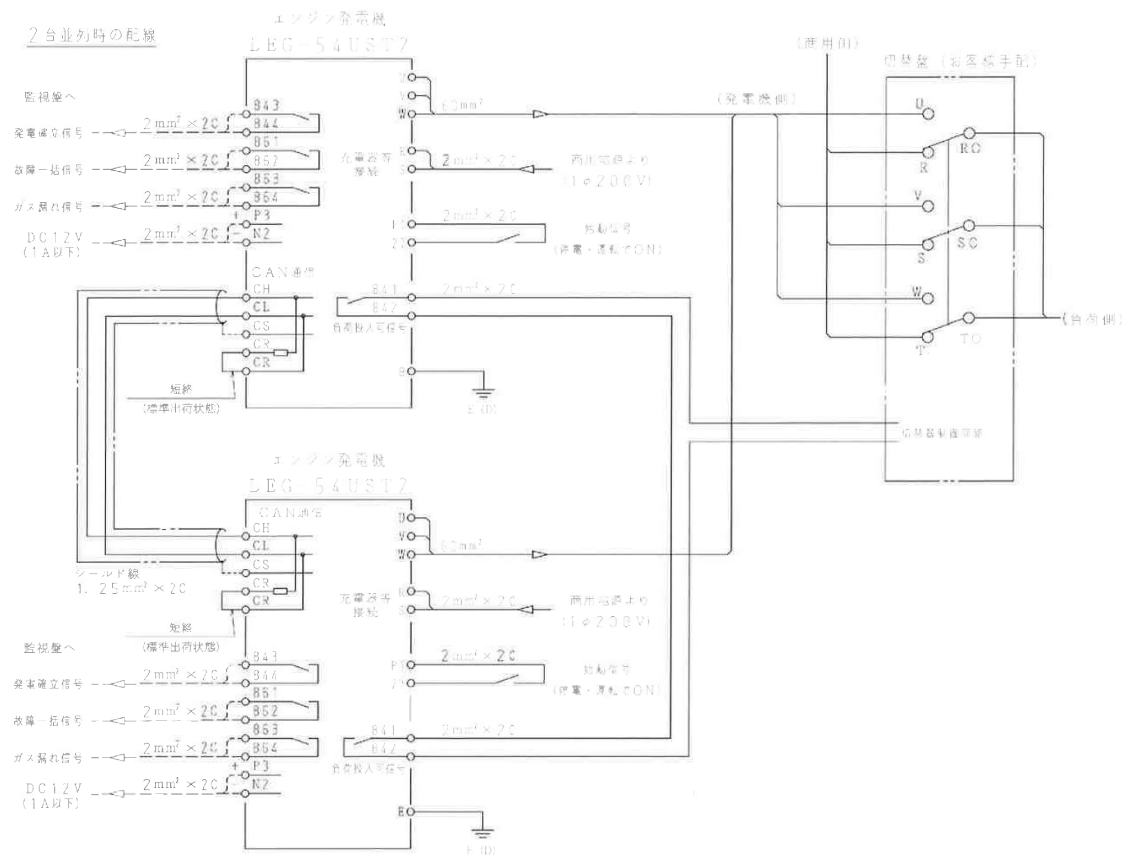
※3台以上で並列運転を行う場合、通信線は下図を参考に各機が並列となるように接続すること。
尚、「CR-CR」型は工場出荷時に短絡線にて短絡されていますので、両端となる2台の機体のみ短絡線を残し、他の機体の短絡線は外すこと。



注 意

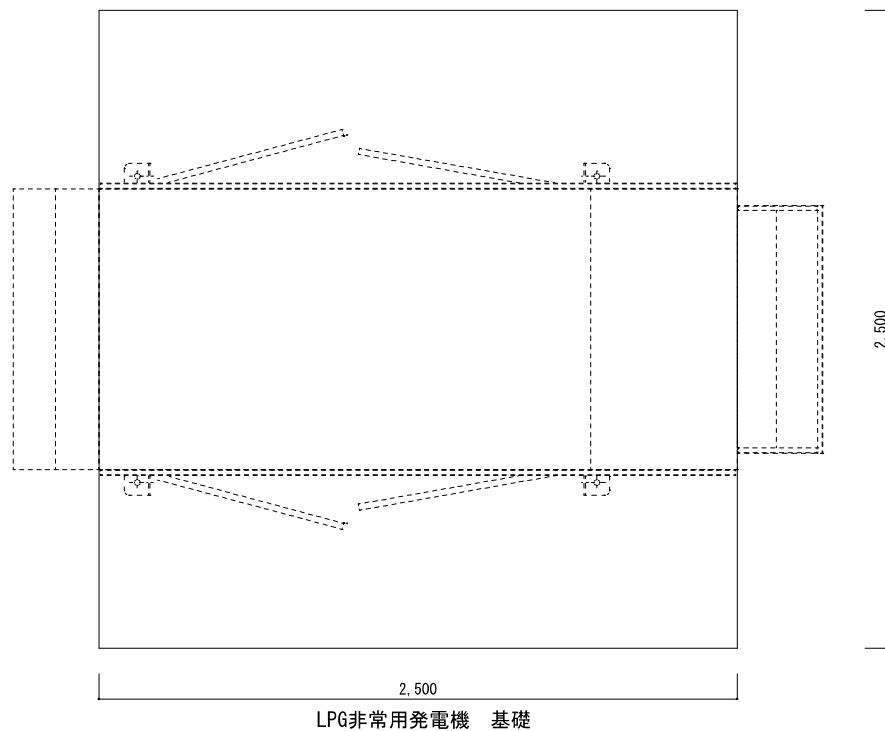
1. 負荷投入可信号 (P41, P42) は、各発電機同士を並列接続とする。
従って2台とも信号がONになることにより切替器が発電機側へ切り替え可能になる。
2. 上記線径は、配線の長さが70m以下の場合を示します。配線長が70mを超える場合は、長さに応じて線径を太くしてください。
3. 機器間に使用する配線材料は、本装置の付属品には含まれません。

2台並列時の配線

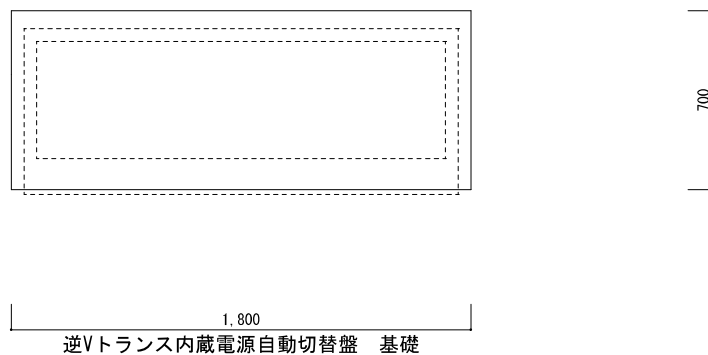


承認	検 図	担 当	型 式
松尾 清二	木村 匡宏 蓮本 健太	池田 達哉	LEG-54UST2
作 成 日	2021.03.12	尺 度	機器間接続図
 デンヨー株式会社 Denyo Co., Ltd.			電源切替器なし
			図 面 番 号 B38113 05503

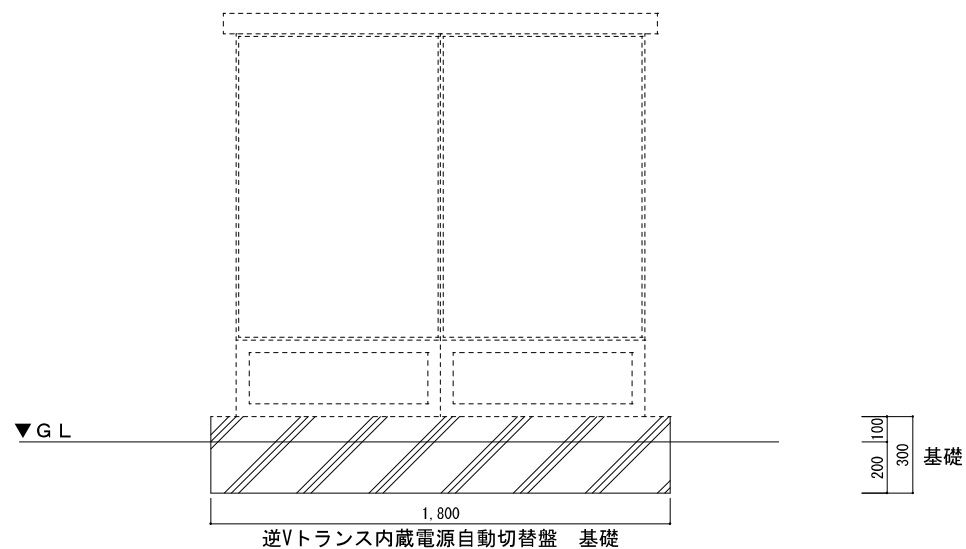
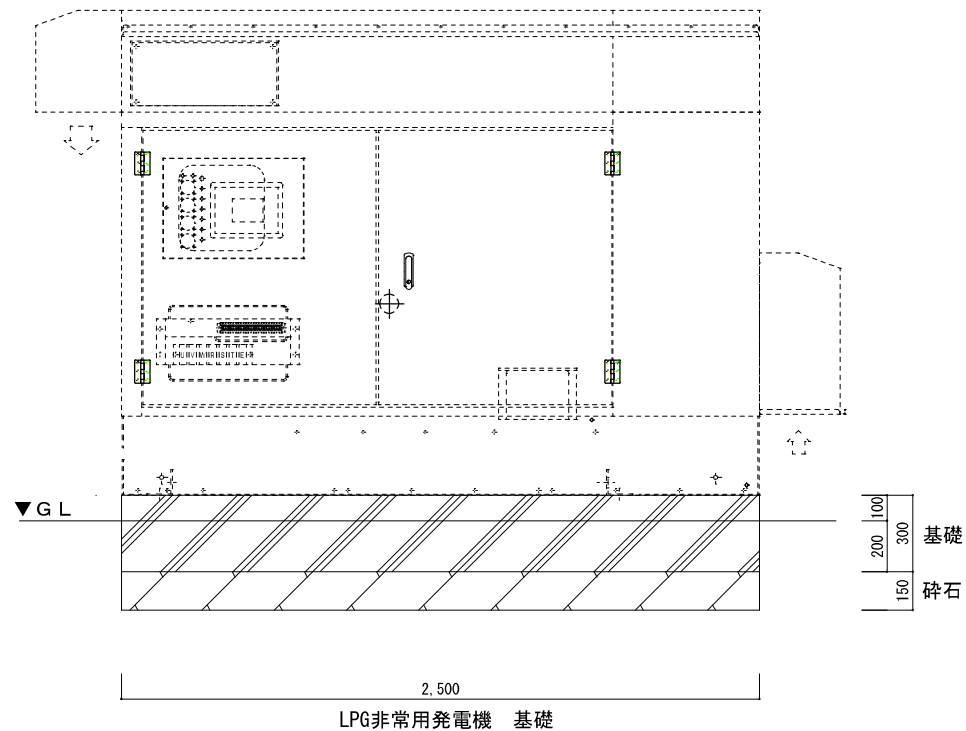
＜平面図＞



D10@200にて配筋すること。
基礎は現地を確認すること。
発電機基礎は、石油タンク撤去後の既存基礎跡を利用して新設する。



＜立面図＞

[illegible]